

shopifyカリキュラム 基礎編

Day 1 .shopifyの基本を知ろう

2021/3

トランスコスモス株式会社
デジタルマーケティング・EC・コンタクトセンター統括
リテールコマース総括 ECX本部 ECサービス統括部
セールスフロントサービス部
マーチャントサポート課



マルチコンタクト
コミュニケーション



デジタルトランス
フォーメーション



カスタマー
エクスペリエンス

RE:DESIGN

Digital Marketing

Electronic Commerce

Contact Center



Global Digital Transformation Partner

Day1 shopifyの基本を知ろう

shopifyの概要を知ろう.....	3
shopifyアカウントを作成し、基本設定をしよう...	5
📌 Work1 パートナーアカウントを取得しよう...	6
ストアの基本情報を設定しよう.....	14
📌 Work2 ストアの基本設定をしよう.....	15

shopifyの概要を知ろう

shopifyには様々な強みが有りますが、構築や制作に関しては下記が大きな強みになります。

1.ノーコード

基本的にどの設定もノーコードで行える。
html/cssやJavascriptの知識が殆ど無くてもサイトの構築が容易に行える。

2.デザインテンプレート

無料～有料まで多様なテーマテンプレートが活用出来る。
要素の追加や移動を、管理画面上で自由に配置する事ができ、全てがレスポンシブ対応(※)となっている。
また、テーマを入れ替えてデザイン変更することも可能。

※PC・スマホ・タブレットなど、アクセスするデバイスに最適化したレイアウト表示ができる機能。

3.アプリによる機能追加

本来、開発が必要な機能を外部から購入することで、月額費用のアプリで機能追加できる。
本来なら実装まで多くの構築費用と納期を必要とする機能がインストールしてすぐに利用可能になる。

shopifyアカウントを作成しよう

shopifyはマーチャント向けアカウントと、パートナー向けアカウントの2種類があります。各々のアカウントでやれる事が異なるので、どのパターンが適しているか案件内容によって提案を変えるのが望ましいです。

マーチャント向けアカウント



クライアント自身でショップを立ち上げる方法です。構築作業はクライアント主導となり、代理店のスタッフは「コラボレーター」としてログイン権限を付与していただき、共同で作業を進める形となります。

パートナー向けアカウント



パートナーアカウントは、代理店などがクライアントのサイト構築を行うときなどに利用するアカウントです。このアカウントでは複数のショップを開設することができます。また無料でプレミアムプラン（月\$299）と同等の機能を使えるメリットがあります。ただし、事前に導入できるアプリに限りがあります。また、このアカウントでサイトの公開を行うことはできないため、構築が完了次第、アカウントをクライアントに譲渡し、公開作業を依頼する必要があります。なおクライアントがショップの運用を開始すると、Shopifyより月額費用の20%がフィーとして入金されます。

クライアントからの依頼を受けてショップを構築する想定でshopifyパートナーアカウントの取得を行っていきます。

Work1 パートナーアカウントを取得しよう

パートナーアカウントを持っていると検証用のテストサイトの作成も簡単に行えます。手順を学んでいきましょう。

登録用URL <https://www.shopify.jp/partners>



まずはパートナーアカウント取得用のページへ行きます。ページ内にアカウント作成用の登録ボタンがあるので、ここから登録してください。



The screenshot shows the Shopify account creation page. At the top left is the Shopify logo. Below it is the heading 'アカウントを作成する' (Create account) and a sub-heading 'アカウントによりShopifyとパートナーを組むことができますようになります。' (By creating an account, you can partner with Shopify and partners). The form includes fields for 'メール' (Email), '名' (First name), '姓' (Last name), 'パスワード' (Password), and '新しいパスワードを確認する' (Confirm new password). Each field has a toggle icon for visibility. Below the fields is a link to '利用規約' (Terms of Service) and a button labeled 'アカウントを作成する' (Create account). At the bottom, there is a link for 'ログイン' (Log in) and footer links for 'ヘルプ' (Help), 'プライバシー' (Privacy), and '条件' (Conditions).

必要項目を埋めてアカウントを作成して下さい。
名前の部分は姓と名が海外仕様で逆になっているので注意して下さい。

アカウント情報

特に明記されていない限り、すべてのフィールドは必須です

ビジネス名

これは後でいつでも変更できます

プライマリビジネスのメールアドレス

このメールは、機能の更新や重大な変更など、重要なメッセージを送信するために使用されます

ウェブサイト (オプション)

住所

住所2 (オプション)

市区町村

国 / 地域

都道府県

郵便番号

職業

電話番号

LinkedInのプロフィールURL (オプション)

FacebookのURL (オプション)

必要項目を埋めて行ってください。

- ・ ウェブサイト
- ・ LinkedInのプロフィール
- ・ FacebookのURL

は入力する必要は有りません。

ご自身について教えてください

ご自身のShopify パートナー体験を、現在のビジネスとShopifyにおけるビジネス計画に合わせて調整いたします。

Shopify パートナーとして、収益を得るために計画している主な方法は何ですか？

- Shopifyアプリストア向けのアプリを構築する
- 個々のクライアント向けにカスタムアプリを開発する
- クライアント向けに新しいShopifyストアを構築
- 既存のShopifyマーチャントに対してサービスを提供
- マーチャントをアフィリエイトとして紹介
- Shopifyマーチャントとして商品を販売
- その他 (記入してください)

どのEコマースプラットフォームと連携していますか?該当するものをすべて選択してください。

- Big Cartel
- BigCommerce
- Clover
- Demandware
- GoDaddy
- Hybris
- Lightspeed
- Magento
- Magento Enterprise
- OpenCart
- PrestaShop
- Revel
- ShopKeep
- Square
- Squarespace
- Symphony
- Vend
- Volusion
- Wix
- WooCommerce
- WordPress
- その他 (記入してください)

どのEコマースプラットフォームも使用していません。

パートナープログラム契約を読み、同意します。

ダッシュボードを表示

嵯野 穂野としてログインしました ログアウト

下部はアンケート形式になっています。
最後に規約同意のチェックをし、ダッシュボードを表示して下さい。



登録が完了すると、パートナーダッシュボードへ移動します。
ここからストアの構築を始めていきます。

※英語表示になってしまっている場合、右上のアカウント名を選択し、プロフィールから言語を日本語に変更して下さい。



次に、開発用のストアの開設を行います。

左側のメニュー項目の「ストア管理」より、「ストアを追加する」を選択して下さい。

shopifyアカウントを作成しよう

保存されていないストア キャンセル 保存

<ストア
ストアを追加する

ストアタイプ

それぞれのストアタイプには、特定の目的のために設計した固有の制限や機能があります。ご自身のニーズに最適なストアタイプを選んでください。

お客様がShopifyのBogus GatewayまたはShopify ペイメントのテストモードを使用している場合、注文の支払いをどのように行うかテストすることができます。

ストアタイプを選ぶ

- 開発ストア**
作成したアプリやテーマをテストするか、クライアント向けにストアを設定してデモを行います。所有権をクライアントに譲渡すると、定期的なレネニューアが必要になります。
- 管理ストア**
クライアントサービスを提供したり、アプリをサポートしたりするために、コラボレーターのアカウントにリクエストを送って、既存のShopifyストアにアクセスします。1回で最大10件まで、保留中のリクエストを追加できます。

ログイン情報

ストアに名前を付けて、使用するパスワードを入力してストアに直接ログインします。ビジネスでお使いのメールアドレスを使用してログインします。ueno.shunsuke@transcosmos.co.jp

ストア名

ストアURL

ログイン
アカウントについてあなたに連絡をする必要がある場合、このアドレスを使用します。

パスワード

パスワードを確認

開発者プレビュー New

開発者プレビューを使用する（なおクライアントへの移行はできません）。

このストアに開発者プレビューを追加して、管理画面に公開されていない機能やアップデートをテストしましょう。開発者プレビューについての詳細情報は。

ストアのアドレス

ストアの所在地を教えてください。

住所

市区町村 郵便番号

国 都道府県

ストアの目的

ストアの使用目的を教えてください。より良いアドバイスが可能です。

開発ストアで何ができますか。

- クライアントのために新しいストアを構築する
- アプリまたはテーマをテストする
- ただ遊んでいるだけです

キャンセル 保存

項目	説明
ストアタイプ	開発ストア
ストア名	任意
パスワード	任意
開発者プレビュー	チェックしない
ストアのアドレス	パートナーアカウント取得時に入力した情報のままで大丈夫です
ストアの目的	アプリまたはテーマをテストする

入力が完了したら保存を押して下さい。



少々お待ちください。ストアを作成中です。

2/3: ストアを初期化しています


ストアの作成が正常に完了すると、ストアの管理ページに移行します。

今後はストア管理ページをベースに解説を行います。

ストアの基本情報を設定しよう

ストアの基本情報を設定しよう

管理ページへアクセスが出来るようになったら、まずはストアの基本情報を登録しましょう。

 **Work2** スタアの基本設定
meta情報、SNSアイコンなどを設定していきます。

使用メニュー オンラインストア > 各種設定



各種設定

タイトルとメタディスクリプション

タイトルとメタディスクリプションは、ストアが検索エンジンでどのように表示されるかを定義するのに役立ちます。

ホームページタイトル

TCテストストア

9/70文字使用

ホームページのメタディスクリプション

Googleなどの検索エンジンのランキングを上げるための説明を入力してください

0/320文字使用

SNSでシェアする画像

SNSでストアへのリンクを共有する場合、通常、投稿には画像が表示されます。この画像は、別の関連画像が見つからない場合に使用されます。ソーシャルメディアで共有する画像の詳細を確認する

SNSでシェアする画像のプレビュー

[画像を変更](#)

画像 (推奨されるサイズ: 1200 x 628ピクセル)



ページタイトル

https://storename.myshopify.com

メタディスクリプション

ホームページタイトルは任意のタイトルを設定して下さい。

メタディスクリプションは、今回のテーマである「北欧家具を取り入れた、ライフスタイル提案型EC」のコンセプトを意識したメタディスクリプションを考えて記入してみてください。

SNSシェア画像 : trans_logo1.jpeg

パスワード保護

ストアへのアクセスを制限するためにパスワードを有効にします。パスワードを知っているお客様のみがストアへアクセスすることができます。パスワード保護の詳細を確認する。

あなたのストアは構築中です。訪問者がストアにアクセスできるようにパスワードを提供してください。詳しくはこちら。

パスワードを有効にする

パスワード
saynga
6/100文字使用

ストア訪問者へのメッセージ

0/5000文字使用

スパム保護


Google reCAPTCHAを有効にして、ストアをスパムや不正行為から保護します。これにより、一部のお客様はreCAPTCHAタスクを完了する必要があります。

チェックアウト時にGoogle reCAPTCHAを有効にする

お問い合わせフォームでGoogle reCAPTCHAを有効にする

保存

Googleアナリティクス
Facebookピクセル
お客様のプライバシー
の項目は今回はスキップします。

 **パスワード保護が有効になっている事を確認して下さい。**
※このチェックが入っていないと、構築中のページが一般公開されてしまいます。未完成のストアが一般公開されてしまうを防ぐため、構築中は必ずパスワード保護をかけましょう…

スパム保護のチェック欄は2つともチェックを入れておいて下さい。
最後に保存を押して完了です。